

# 国際金融論（2012 春） 期末試験

担当 岩村 英之

実施日 2012 年 7 月 9 日

## 注意事項

- 講義で配布したプリントや自前のノート等，持ち込みは一切不可。
- 問題は裏面にもあります。
- 第3問の解答のみ論述専用の解答用紙（大学指定のもの）に記入すること。
- 第3問の解答に際しては、「円が増価する」「(邦貨建) 為替レートが低下する」などの正確な表現を用いること。

1. 【 】内から適する語句を選び，記号で答えなさい。(各5点，計55点)

- (a) 既発債券の市場価格が低下するとき，この債券の利子率は【ア 上昇する / イ 低下する / ウ 変化しない】。
- (b) ある国が資本収支の赤字を計上するとき，その国の対外純資産は【ア 増加する / イ 減少する / ウ 変化しない】。
- (c) 円建債券の利子率が2%，ドル建債券の利子率が5%で，外国為替市場が均衡しているとする。このとき，市場参加者は円がドルに対して【ア 5%増価する / イ 5%減価する / ウ 3%増価する / エ 3%減価する / オ 価値を変えない】と予想している。
- (d) 今，円がドルに対して減価した（＝円安になった）とする。円建・ドル建債券の利子率が不変であるとすると，市場の期待為替レートが【ア 円安 / イ 円高】へと変化しているはずである。
- (e) GDP の変化しない短期で考えると，日本の物価水準の低下は利子率を【ア 上昇させ / イ 低下させ / ウ 不変に保ち】，円を【ア 増価させる / イ 減価させる / ウ 不変に保つ】。
- (f) 米国の利子率の上昇によって，日本の GDP は【ア 増加する / イ 減少する / ウ 変化しない】。また，円は【ア 増価する / イ 減価する / ウ 変化しない】。
- (g) 世界の需要が日本製品へとシフトすると，為替レートは【ア 円安になる / イ 円高になる / ウ 変化しない】。また，このとき日本の利子率は【ア 上昇する / イ 低下する / ウ 変化しない】。
- (h) 【ア 外国為替・資産市場 / イ 製品・サービス市場】で外生変数の変化が生じると，GDP の減少とともに円高になる。

2. 以下の各問に答えなさい。途中式や説明は不要。答えのみでよい。(15点)

(a) 利子率 0.05 で、10 万円を 5 年満期で貸し出すとする。毎年同じ額の返済をしてもらおうとすると、その返済額はいくらになるか。返済額を  $x$  円として、 $x$  を求める方程式を提示しなさい。ただし、返済額自体は求めなくてよい、すなわち方程式を解く必要はない。(8点)

ヒント：毎年  $x$  円の支払いがある 5 年満期の債券を、今日 10 万円で購入すると考えてみよう。

(b) 円建債券の利子率が 0.05、ドル建債券の利子率が 0.02 であるとする。人々が 1 年後の為替レートを 84 円と予想しているとき、今日の為替レートは理論的にはいくらになると考えられるか。小数点第 3 位以降は切り捨ててよい。(7点)

3. GDP が変動することを前提とした中期モデルに基づいて、以下の各問に答えなさい。解答に際しては必ず DD-AA ダイアグラムを用いること。また、それぞれその曲線がそのようにシフトする理屈についても簡単に説明すること。(各 10 点、計 30 点)

(a) 経済が完全雇用水準にあるとする。今、民間企業の投資需要が減少したとすると、この経済の均衡はどう変化するか。

(b) 完全雇用を回復するために、政府および中央銀行はどのような政策をとり得るか。また、それぞれの効果はどう異なるか。

(c) 何の政策も講じずに失業を放置していると、十分な時間がたてば労働者の賃金水準が低下し、物価が低下しはじめると考えられる。これによって、GDP・為替レートはどのように変化していくと考えられるか。